

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念について、初めに管理職等で話し合っグループホーム全体の理念として決めたものなので、各ユニットの特色にあった理念を職員間で話し合っつくる必要がある。	各ユニットでミーティングを行い、職員同士で話し合い各ユニットの状況に応じた理念をつくる。	事前に各職員に説明して考えてもらい、フロア会議にて話し合い各ユニットにの特色に合った理念をつくっていく。	2か月
2	19	ご家族様を交えて外出の機会をつくっていない。	ご家族様を交えたお花見を行う。	京都府立植物園にてのご家族様を交えての外出を行う。	1ヶ月
3	2	利用者様と地域社会とのつながりがあまりとれていない。	利用者様と地域のボランティア活動に参加する。	山科区役所地域推進室まちづくり担当の「花と緑のまちづくりサポーター(ボランティア)」に利用者様と参加をする。	1ヶ月
4	20	利用者様が自宅等への外泊の機会がほとんど持っていない。	自宅への外泊が可能と思われる利用者様を外泊が出来るように家族様と相談して計画、実行する。	利用者様を自宅へお連れして、対応が可能かを確認する。ご家族様と相談して計画をたてる。	2ヶ月
5	48	ゆっくりと個別で外出等を楽しむ時間がとれていない。	個別でい1日または半日の外出の時間を設けてゆっくりと外食や趣味を楽しんで頂く。	日程と利用者様個別に行きたい所ややりたいことを聞いて、計画をたて、人員を配置する。	39ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。